

SCO-OP 国際セミナー2009 学長挨拶

鹿屋体育大学長 福永哲夫

このたびは「SCO-OP 国際セミナー2009」にご参加いただき、誠にありがとうございます。鹿屋体育大学の教職員を代表して、心より御礼申し上げます。また、本セミナー開催にあたり、格段のご配慮とご協力をいただきました文部科学省はじめ関係の皆様には、深甚の敬意を表します。

鹿屋体育大学は、2006年度より文部科学省の大学教育特別経費の補助をいただき、生涯スポーツビジネス分野の産学連携教育プログラムの開発事業を実施して参りました。これまでに国内のスポーツビジネス分野や、ドイツ、韓国でのスポーツ機関等にご協力をいただきモデル事業を実施するとともに、2度の国際会議を実施して、国内外のインターンシップの現状と課題について論議を行ってまいりました。

今回のセミナーは、事業の最終年度として、ヨーロッパ、北米、アジアからの研究者及び日本のスポーツビジネス関係者の皆様にご参加いただき、スポーツ専門職と産学連携教育プログラムの課題と展望について論議を深めることを目的としています。

本学は、高度で専門的なスポーツ指導者養成を教育研究の理念に掲げ、開学当初より実践的な指導力をそなえた体育・スポーツの専門家の輩出を使命として参りました。この3年間にわたり、スポーツ産業界のご協力をいただきながらSCO-OPプログラムの開発に取り組むことができたことは、実践的なキャリア教育の新たな形として、体育・スポーツ界に一石を投じることができたと確信しております。

3年間の事業の集大成とも言える今回の国際セミナーが、わが国の体育・スポーツ系大学、ひいてはスポーツ産業界における人材教育に大きく貢献することを期待して、ご挨拶とさせていただきます。

特別招待者歓迎会 学長挨拶

鹿屋体育大学長 福永哲夫

みなさま、今夜は「SCO-OP 国際セミナー2009」の特別招待者歓迎会にお集まりいただき、ありがとうございます。ドイツ、カナダ、韓国の各国からも遠路はるばるお越しいただいた海外特別招待者のみなさん、ようこそ、日本へ。心から歓迎いたします。また、国内のスポーツビジネス関係者のみなさんと体育系大学の先生方にも、お忙しい中、ご参加いただき、心より御礼申し上げます。

さて、本学ではスポーツ産業界のご協力をいただきながら、SCO-OP モデルプログラムの開発に取り組んできました。3年間の取組の中で、今後の体育・スポーツ界における人材育成について、たくさんの示唆を得ることができました。明日の「SCO-OP 国際セミナー2009」は、3年間の事業の集大成とも言えます。スポーツ専門職育成のための産学の連携の在り方について、議論を深めていただくことが主な目的であります。それだけにとどまらず日本の、ひいては世界のスポーツビジネスについて、実り多いディスカッションがもたれれば幸いです。

今夜の歓迎会では、どうぞリラックスしていただき、美味しい料理に舌鼓を打ちながら、みなさんがざっくばらんに情報交換を行っていただいて、明日の本番に向けて弾みをつけていただければと思います。

ありがとうございました。